

問1 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域 | 2. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域 | 3. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域 | 4. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域 |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|

問2 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。 (2022年

栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 | 2. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 | 3. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 | 4. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 |
|---|--|--|--|

問3 世界自然遺産である知床半島を含む北海道の東部沿岸では、夏季に「海霧」と呼ばれる濃い霧が発生しやすい。この現象の要因となる「季節風」と「海流（親潮）」の関係を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. オホーツク海からの冷たい季節風が、親潮の影響で冷え切った陸地にぶつかり、上昇気流が発生して雲を作るため。 | 2. 南からの暖かく湿った季節風が、対馬海流の影響で温度が上昇し、空気中の水蒸気量が飽和状態に達するため。 | 3. 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通ることで水蒸気が凝結するため。 | 4. 大陸からの冷たく乾いた季節風が、暖流である黒潮によって温められた海面から大量の水蒸気を供給されるため。 |
|---|---|---|--|

問4 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。 | 2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。 | 3. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。 | 4. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。 |
|---|--|--|--|

問5 北海道の県庁所在地である札幌市の気候の特徴を説明した文として、統計データに基づき正しく述べたものを次の中から選びなさい。 (2022年

熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 夏は非常に高温になる一方で、冬の降水量が極端に少なく、年間降水量が1000mmを下回る乾燥した気候である。 | 2. 1月の平均気温は5度前後であり、夏には梅雨の影響で雨が非常に多いが、冬は乾燥して晴天が続く。 | 3. 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。 | 4. 1年を通じて気温の変化が小さく、1月の平均気温も15度を上回り、夏に極めて多い降水量が見られる。 |
|--|---|---|---|

問6 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適当な記述を選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。 | 2. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。 | 3. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。 | 4. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。 |
|---|---|--|--|

問7 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 輪作 | 2. 開拓 | 3. 干拓 | 4. 客土 |
|-------|-------|-------|-------|

問8 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 暖流に乗って流氷とともにやってくるカツオやマグロなどの大型魚を一本釣りで狙う。 | 2. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。 | 3. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。 | 4. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。 |
|--|--|--|---|

問9 北海道の知床や鹿児島県の屋久島など、貴重な自然環境が残る地域では、観察用のデッキや木道を設置する取り組みが行われています。観光客に地域の自然を体験してもらう一方で、踏みつけなどによって自然が破壊されることを防ぎ、環境の保全と観光を両立させるこのような仕組みを何と呼びますか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|------------|--------------|------------|
| 1. バリアフリーツーリズム | 2. マスツーリズム | 3. グリーンツーリズム | 4. エコツーリズム |
|----------------|------------|--------------|------------|

問10 札幌市の中心部に見られる、道路が垂直と水平に規則正しく交差するように設計され、住宅地や商業地が正方形に近い区画で整理されている街路の形態を何と呼びますか。 (2020年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 同心円状の街路 | 2. 格子状の街路 | 3. 放射状の街路 | 4. 不規則な街路 |
|------------|-----------|-----------|-----------|

問11 日本には、知床、白神山地、屋久島、小笠原諸島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島の5つの世界自然遺産があります。これらが位置する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県などの道県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、鹿児島県（鹿児島市）のように県名と県庁所在地名が一致する自治体がある一方で、北海道は名称が異なります。世界自然遺産である知床を有し、道庁所在地が置かれている都市の名称を答えなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島市 | 2. 札幌市 | 3. 秋田市 | 4. 青森市 |
|---------|--------|--------|--------|

問12 北海道の農業の特色について述べた文として、生乳の利用状況に着目して説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2019年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 冷涼な気候を活かして乳牛の飼育が行われているが、生乳の生産よりも食肉用の肉牛の飼育が統計上の大半を占めている。 | 2. 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。 | 3. 生乳の生産量は多いが、そのほとんどは自家消費や道内での流通に限られており、加工品としての道外出荷は少ない。 | 4. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保った飲用牛乳を都市部に供給する近郊農業が酪農の主流となっている。 |
|--|---|--|---|